

小峰城跡・白河駅周辺地区

- 所在地： 福島県白河市
- 地区面積： 約 20.0 ha
- 応募者： 白河市、株式会社 楽市白河、特定非営利活動法人 しらかわ建築サポートセンター

■地区の概要

当地区は、史跡「小峰城跡」と JR 白河駅を中心とする地区で、本市の中心市街地の一画をなしている。400 年来の城下町としての都市構造を残し、「小峰城跡三重櫓」、ステンドグラスと赤瓦が特徴的な大正ロマン漂う「JR 白河駅舎」、市街地に残る貴重な城郭遺構である「小峰城道場門遺構」等の歴史的資源が残る地区である。中心市街地は、定住人口の減少や生活圏の拡大等により賑わいと魅力が失われつつあったが、市による駅前土地区画整理事業の実施や地区計画の導入のほか、各種まちづくり計画に基づく事業の実施により、現在は歴史と文化の拠点となっている。特に、景観計画の策定、中心市街地活性化基本計画や歴史的風致維持向上計画の認定後は、図書館機能、地域交流機能、産業支援機能を備えた「白河駅前多目的複合施設」、「駅前イベント広場」、「コンピエーニュ・白河交流広場」などの文化的施設、「小峰城道場門遺構」等の滞留拠点や歴史的空間が整備された。また、小峰城跡三重櫓への眺望景観に配慮した取り組みも官民連携で進められており、自然、歴史、文化が融合した特徴的な景観が形成されている。また、賑わいの演出や多彩なイベントも行われ、市民が中心市街地に行く頻度はここ数年において増加しており、特に、当地区に整備された白河駅前多目的複合施設の利用頻度は高くなっている。また、歩行者通行量も大幅に増加しており、賑わいの創出に大きな効果を与えている。

■審査講評

本地区は市のシンボルである小峰城跡や近代の面影を今に残す JR 白河駅舎などの歴史資源と那須連峰を遥かに望むことができる風光に優れた環境に加え、新たな市民活動拠点となる多目的複合施設を中心に、自然、歴史、文化の融合した景観形成がこの地らしい都市の魅力を育んできている。残された史跡を活かし、新たな市民生活に寄与する施設との関係を図っていく。この「残すことと創ること」が 1 つの地区の中で適正に成立していることが好ましい。複合施設は城跡さらに山並みへの眺望配慮から高さや勾配屋根によるデザイン、外観の色彩に工夫がみられ、近景から遠景までを意識した景観的配慮が功を奏している。また、駅前施設「白河駅前多目的複合施設（りぶらん）」や「えきかふえ SHIRAKAWA」が整備されたことで地区内の回遊性が向上し、市民や訪問者の交流が促進されているようだ。さらに年間を通して行われる伝統芸能、冬のイベント、スポーツイベントなどが市民生活に活気をもたらす都市の景に彩りを添えている。今後、景観形成ガイドラインによる街並み保全や無電柱化が予定されており、更なる景観整備に期待がもてる。（富田）



当地区は、本市の中心市街地に位置し、史跡「小峰城跡」や JR 白河駅（写真右下）を中心とした地区で、南西側に那須連峰（写真上）を望む。



本市のシンボルである小峰城跡三重櫓と前御門。初代白河藩主丹羽長重（にわながしげ）により、小峰城の大改修と城下町の整備が行われた。



小峰城跡三重櫓（写真左上）を北側に望み、白河駅多目的複合施設（写真左下）、小峰城道場門遺構（写真中央）、駅前イベント広場（写真右）が一体的に整備されている。



小峰城跡三重櫓への眺望景観に配慮した建物の高さや勾配屋根のデザイン、色彩が特徴的な白河駅前多目的複合施設。本市の新たなランドマークとなっている。